

資料3-2

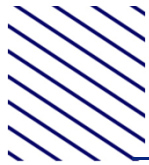
消費者保護ルールの在り方に関する検討会(第25回) ご説明資料

KDDI株式会社

2020年12月11日

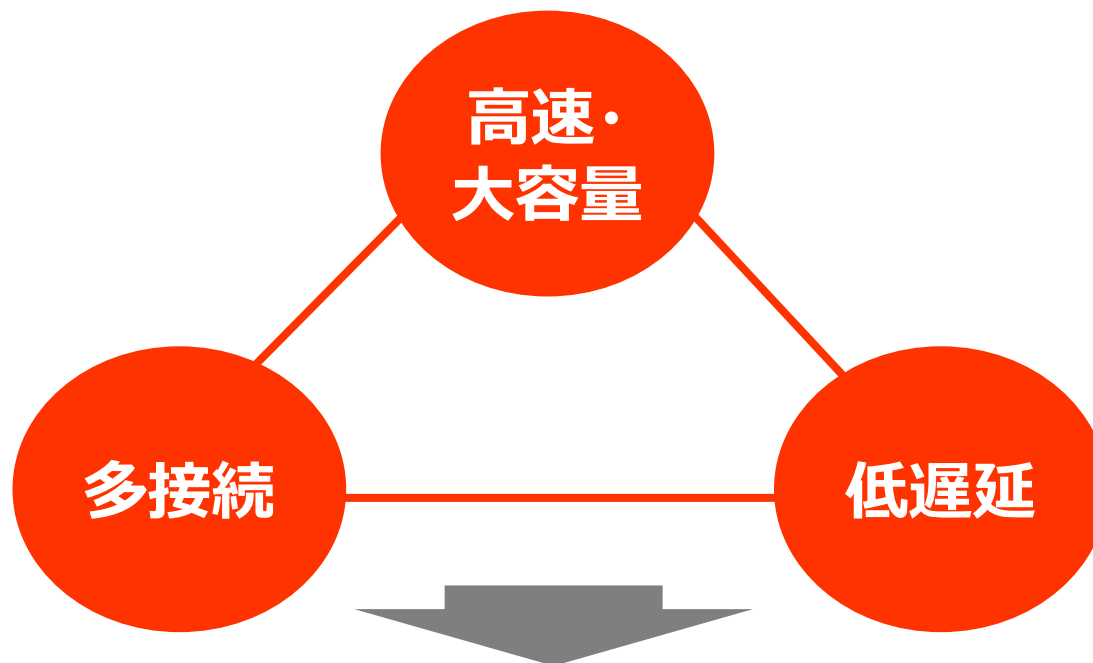
Tomorrow, Together

KDDI



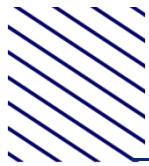
- 1 はじめに
- 2 エリアマップ表示の方向性
- 3 TVCMや店頭広告、ウェブサイト上の表示等における方向性
- 4 ピクト表示について

5Gには「高速・大容量」「多接続」「低遅延」の3つの特性



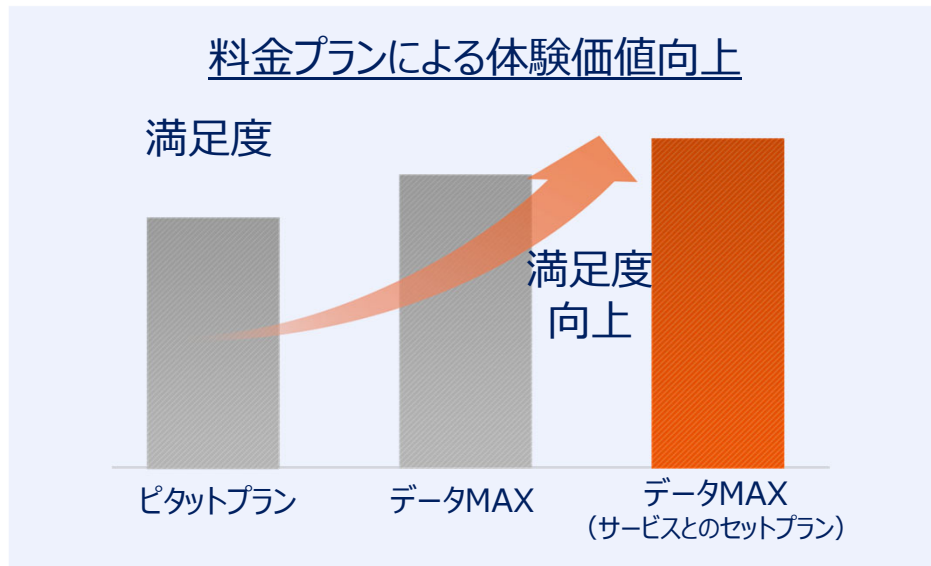
お客さまの利用シーン等に応じて必要な機能、品質を提供



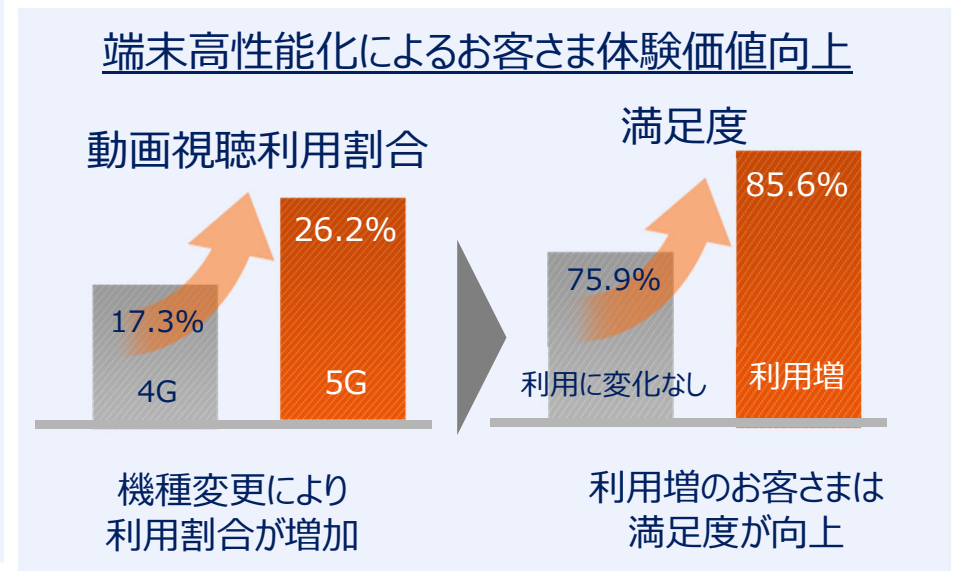


当社が進める5Gでは、以下3点によって生み出される
お客さまの体験価値を訴求することに重点

- 「使い放題」の料金
- 「高精細」なコンテンツサービス
- 「高性能」なデバイス

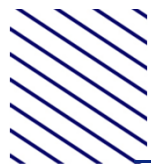


※2020年10月時点KDDI調べ



※2020年5月～8月KDDI調べ

5Gの体験価値は、単に「高速・大容量」によるものではない



5Gを広いエリアで体験いただけるよう、対策を推進

「5G向け新規周波数による基地局展開」「既存周波数を用いた5G（NR化）」
双方を推進し、エリア展開を加速



「体験価値」に重点を置いて訴求していくとともに、
5Gをお客さまに正しく理解していただけるよう、
エリアや広告のわかりやすい表示に努めてまいります

新世代モバイル通信システム委員会報告（2020年3月）

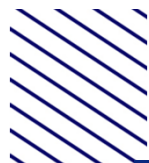
「性能をユーザーが誤認しないような方策」として
「適切な周知手段をもってユーザー保護に努めていくことが望ましい」

上記を踏まえた事業者間の共通認識

5Gエリアをユーザーにとって分かりやすく示すため、
新周波数と提供サービスに明らかな性能差分(速度等)がある
既存周波数のNR化はマップ表示を分けることとする

なお、今後の5G展開状況に応じて
ユーザーにとってのわかりやすさは変化するものと理解しており、
ユーザー周知方法については適宜見直しが必要

※総務省殿に対するMNO4社連名ご説明資料（2020年10月9日）より抜粋

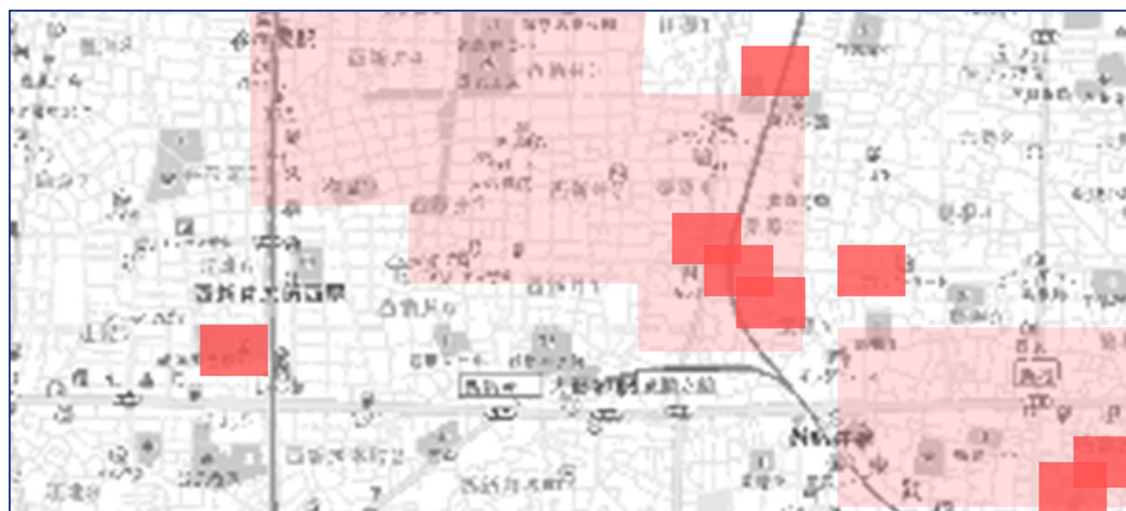


エリアマップ表示の方向性 (2/2)

6

5Gが利用可能なエリアを表示

まずは新規周波数／既存周波数により色分け
(お客さまのわかりやすさ向上のため、周知方法は適宜見直し)



- ✓ お客さまに対しては、提供エリアをご確認いただくよう、契約時に説明

当社は「体験価値」に重点を置いた訴求を実施

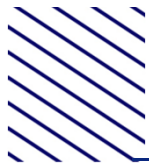
TVCM



WEBサイト

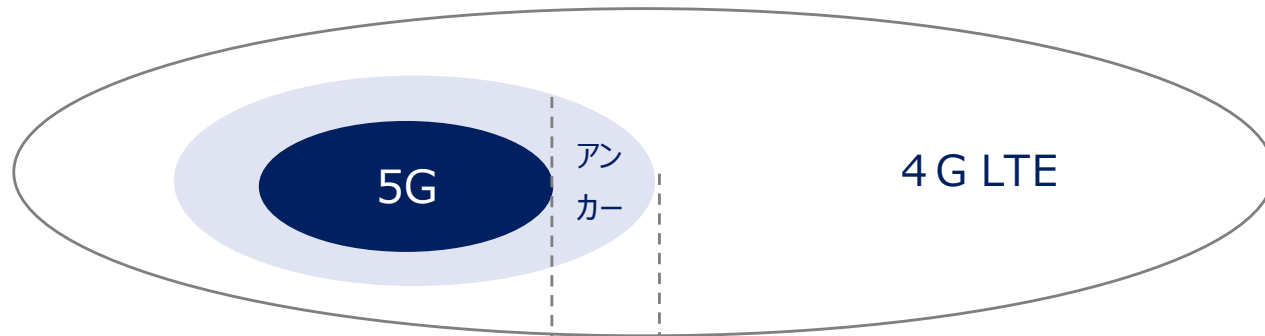


- ✓ 訴求物において「5Gは、一部エリアでの提供」であることを明記



ピクト表示について

5Gエリアにおいては、通信時・待受時ともに「5G」表示
アンカー※エリアにおいては、待受時に「5G」表示（通信時に「4G」表示）



ピクト表示	通信時	5G	4G	4G
	待受時	5G		4G

※アンカー：NSA(Non Stand Alone)構成の5G通信において制御信号を扱う4Gネットワーク（5G基地局の隣接局に設定）

✓ お客さまに対しては、ピクト表示について契約時に説明

Tomorrow, Together

KDDI